

ごみを減らしていくための3R活動

ごみを減らすために有効な手段は「3R」です。3Rは「リデュース」「リユース」「リサイクル」のことで、簡単に行うことができます。

市民の皆さんの協力により、多くのごみを減らすことができます。高梁市の環境を守るためにも、各家庭や町内会などで一緒に取り組みましょう！



R (リデュース) Reduce

ごみを減らす

- ▶ 買い物にマイバックを持参する
- ▶ 不要なものを買わない
- ▶ 食べ残しを減らすようにする
- ▶ 生ごみの水分を切る
- ▶ 生ごみコンポストなどで堆肥にするなど



生ごみの水切りに取り組みましょう

家庭ごみの約40%を占める生ごみの約80%は水分です。

捨てる前に水分を十分に切ることで、ごみの削減につながるだけでなく、悪臭や虫の発生を抑えることができます。

生ごみを捨てる際は、水切りネットなどを使用して水分をよく切ってください。



R (リユース) Reuse

繰り返し使う

- ▶ 不用になったものを他の人に譲る
- ▶ 壊れたものは修理して使う
- ▶ 詰め替え用の商品を購入する
- ▶ リサイクルショップを利用するなど



R (リサイクル) Recycle

再生利用する

- ▶ リサイクル商品を積極的に使う
- ▶ 正しく分別してからごみステーションに出す
- ▶ 包装紙、紙袋、封筒、コピー紙などは「雑紙」として資源ごみに出すなど



「ごみの分別・減量化に向けた取り組み

市やクリーンセンターが行っている取り組みを紹介します。

「ごみ分別説明会

町内会などの団体へ出向いて「ごみ分別説明会」を開催しています。

説明会では、「マナーは家庭から」「ごみ分別ビデオ」を参考に「ごみの正しい出し方を説明した後、実際に皆さんでごみを分別します。説明会は約1時間半です。ごみ分別説明会の開催を希望する場合は環境課へお問い合わせください。



ごみ分別説明会の様子

「ごみ分別学習授業

市内の小学4年生を対象に、環境課職員による「ごみ分別学習授業」を実施しています。

ごみが増えるとき起きる問題やごみの分別方法などを勉強した後、実際にごみを分別します。授業を受けた児童から、「ごみの出し方が分かった」「家でも取り組みたい」などの感想を聞くことができます。



ごみ分別学習授業の様子

「クリーンセンター・リサイクルプラザ施設見学

クリーンセンター・リサイクルプラザでは、市内の小学4年生を対象に施設見学を実施しています。

日常生活で当たり前のように捨てているごみがどのように処理されているのかを、子どもたちは知りません。燃やせるごみがどのように焼却されているか、資源ごみがどのようにリサイクルされているのかを学ぶことで、子どもたちが「ごみ」について真剣に考える良い機会となっています。



クリーンセンターの施設を見学

環境を守るために...

近年、マイクロプラスチックによる海洋汚染が問題となっています。マイクロプラスチックとは、海洋に漂うプラスチックごみが太陽光による分解や衝突による破砕などでマイクロサイズにまでなったもので、海洋生物の生態系に影響を及ぼすと懸念されています。

日本でも、使い捨てプラスチックの排出量を減らすために、環境省が小売業に対してレジ袋の有料化を義務付ける方針を示しました。プラスチックの排出量を減らすとともに、河川などへ捨てられたプラスチックごみが海にたどり着かないようにするためにも、ごみはごみ箱へ捨てるという基本を守ることが重要です。また、再生利用可能なプラスチック製品を資源ごみとしてまとめ、資源を循環させることもごみを減らす方法の一つです。

